

令和7年度

岩手県生涯学習推進研究発表会

# 「博物館」の地域における 社会教育的役割に関する研究

(2年次)



発表者

岩手県立生涯学習推進センター

主任社会教育主事 土谷 文子

# 発表構成

I 研究の概要

II 研究の内容

III 研究のまとめ



# 発表構成

I 研究の概要

II 研究の内容

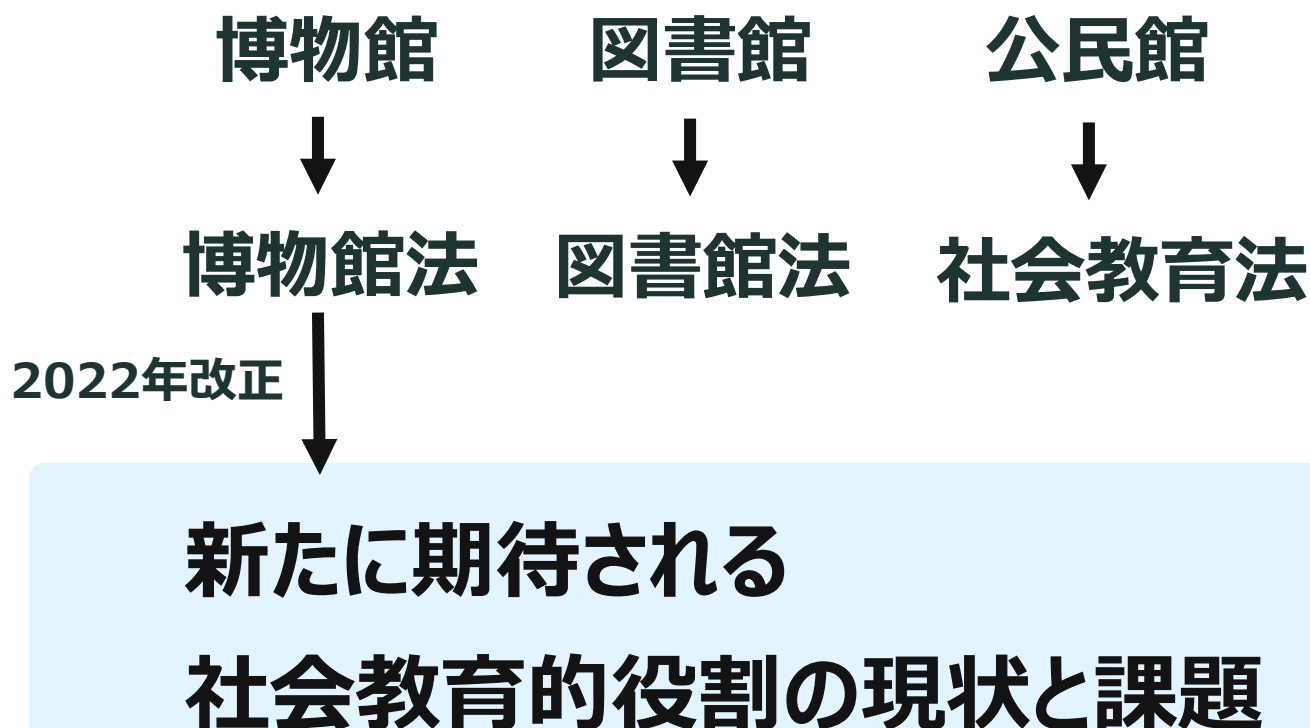
III 研究のまとめ



## 研究主題

「博物館」の地域における  
社会教育的役割に関する研究

## 研究目的



# 年次計画

## 1年次

文献・資料などから、社会教育的役割についてまとめる。

「博物館」の現状と課題をアンケート調査によって把握する。

## 2年次

「博物館」の具体的事例について分析・考察する。

これから期待される「博物館」の社会教育的役割を整理する。

# 発表構成

I 研究の概要

II 研究の内容

III 研究のまとめ



# 発表構成

I 研究の概要

II 研究の内容

III 研究のまとめ



## 研究の内容

- 1 博物館の歴史
- 2 博物館の現状と今後の課題
- 3 本県における文化芸術の位置づけ
- 4 アンケート調査について
- 5 各博物館の取組事例
- 6 「博物館」の地域における社会教育的役割の考察

# 1 博物館の歴史



[https://tanken.com/sanhaku/styled-26/#google\\_vignette](https://tanken.com/sanhaku/styled-26/#google_vignette)

湯島聖堂博覧会の当時の様子

**起源**： 1872年 湯島聖堂博覧会（現・東京国立博物館の創立年）

**制度化**： 1951博物館法 = 社会教育施設として位置づけ

**展開**： 高度成長で拡充 / 90年代以降は成果の可視化

**現在**： 文化施設としての役割、ICOM（国際博物館会議）新定義

## 2 博物館の**現状**と今後の課題

**館種の多様化**（歴史・自然・美術・科学 ほか）

**設置者の多様性**（公立・法人・企業など）

**法区分の三分類**（登録 / 指定 / 類似）

**運営の多様化**（直営・地方自治体 / 指定管理・民間事業者等）

# 博物館法改正の柱（2022改正・2023施行）

## ▶ 文化施設としての位置づけ

社会教育法に加え、文化芸術基本法の追加

## ▶ 事業の強化

資料のデジタル化・公開／館同士の連携／地域への貢献

## ▶ 登録制度の見直し

設置者要件の緩和と所管制限の撤廃

## 2 博物館の現状と今後の課題

- ▶ 新登録制度の活用状況・効果検証
- ▶ 審査における  
社会教育施設性・非営利性・公益性の確保
- ▶ 登録後の継続的支援
- ▶ 多様な主体とのネットワーク形成支援など

### 3 本県における文化芸術の位置づけ

#### 「いわて県民計画 2019～2028」

- ▶ 文化芸術に親しむ機会の提供と交流の拡大
- ▶ 人づくり・地域貢献につながる文化教育の推進
- ▶ 文化芸術を活かした地域活性化と特色づくり

## 4 アンケート調査について

### ▶ 基本的役割と課題

特色を発揮／教育活動実施／人手不足・財政難・老朽化

### ▶ 地域連携の実態

7割が地域と連携／一方向は多いが、双方向は少ない

### ▶ 今後の方向

特色の出し方・連携のあり方／先進事例の調査

## 視点1 基本的な社会教育的役割

地域に根差した知の蓄積と共有

- デジタルアーカイブの作成・公開
- 博物館相互の連携協力
- 各種団体や施設との連携協力

## 視点2 新たな社会教育的役割

地域に開かれた活動で、地域の活力向上に寄与

## 研究の内容

- 1 博物館の歴史
- 2 博物館の現状と今後の課題
- 3 本県における文化芸術の位置づけ
- 4 アンケート調査について
- 5 各博物館の取組事例
- 6 「博物館」の地域における社会教育的役割の考察

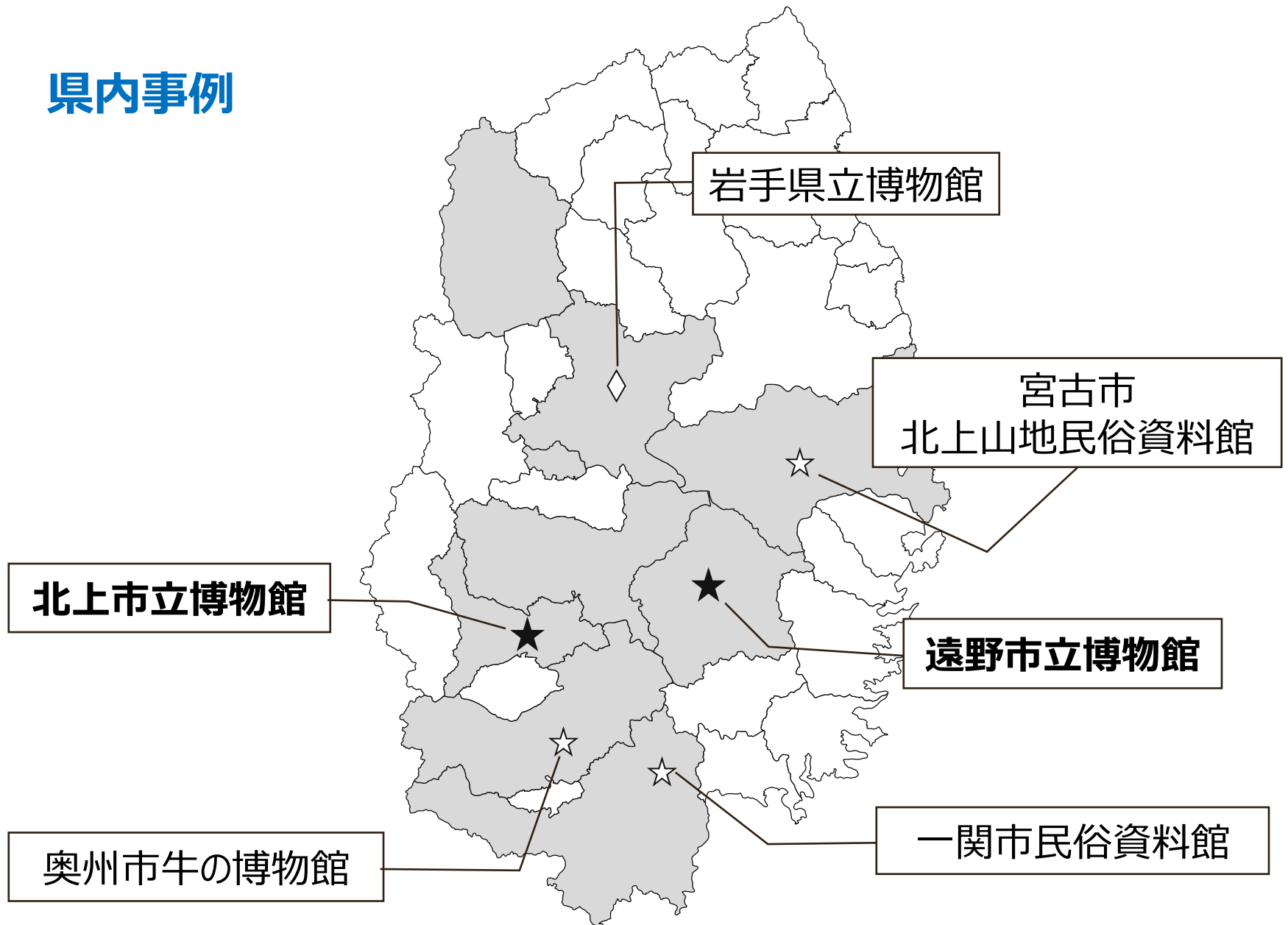
# 県外事例

大阪市立自然史博物館



昭和日常博物館  
(北名古屋市歴史民俗資料館)

# 県内事例



## 研究の内容

### 5 各博物館の取組事例

(1) 大阪市立自然史博物館

(2) 昭和日常博物館 (北名古屋市歴史民俗資料館)

(3) 北上市立博物館

(4) 遠野市立博物館

# 大阪市立自然史博物館



所管：大阪市

開館：昭和25年

区分：登録博物館

職員：23名（学芸14名）

運営：大阪市博物館機構（地方独立行政法人）

### ▶ 大阪自然史フェスティバル

市民・NPOと協働する大規模参加イベント

### ▶ ジュニア自然史クラブ

中高生が調査・自主研究に挑戦できる場

### ▶ デジタル発信（3D・VR・動画・SNS）

来館せずに展示体験が可能、学びの広がりを支える



大阪自然史フェスティバル2024



ジュニア自然史クラブ 鉱物採集の様子

### ▶ 大阪自然史センター

博物館と協働し、市民の学びを支える認定NPO

### ▶ 友の会・サークル活動

観察・調査・会誌で学びを継続し、支える人材も育成

### ▶ サークル活動事例：なにわホネホネ団

活動が地域を超えて広がり、市民主体の学びを継続



サークル活動の様子

## 協働による市民参加の基盤形成

主体的に参加できる仕組みを協働で、継続的な学びへ

## サークル育成による地域の知の蓄積

専門性と市民活動を結びつけ、知を蓄積する基盤形成

## デジタル活用による学習機会の確保

時間や場所に制約されない学びを可能に

## 市民参加型の交流と学びの創出

フェスティバルで、市民同士・学芸員との交流と学び

## 次世代育成につながる主体的な学びの展開

ジュニア自然史クラブで興味を伸ばし主体的な学びへ

## 協働の広がりによる地域の学びの深化

ホネホネ団のように、主体的な活動が学びを豊かに

## 研究の内容

### 5 各博物館の取組事例

(1) 大阪市立自然史博物館

(2) 昭和日常博物館 (北名古屋市歴史民俗資料館)

(3) 北上市立博物館

(4) 遠野市立博物館

# 昭和日常博物館



所管：北名古屋市

開館：平成2年

区分：博物館類似施設

職員：3名

運営：北名古屋市



### ▶ 回想法とは

懐かしい写真や生活用具で過去を語り合う活動  
介護・認知症予防でも活用

### ▶ 思い出ふれあい（回想法）事業

お出かけ回想法：展示を体験

回想法スクール：週1×8回

回想法キット：福祉現場へ資料提供・全国貸出

### ▶ 回想法を支える連携体制

博物館と福祉関係の部局とが連携、学びと支援を結ぶ

### ▶ QOL (Quality of Life) の向上

健康感・充実感の高まりが聞き取りで確認

### ▶ 医療費の減少傾向

参加前 2,299円

参加後 1,872円 (−427円)

### ▶ 地域参加と世代間交流の広がり

修了者「いきいき隊」が学校・地域で活動を展開

## 生活資料を基盤とした活用

展示空間を回想法の場として活用

## 資料を媒介に生まれる学びとケアの創出

心理的安定・交流・つながりへ

## 生活資料の価値を地域の学びへ展開

生活資料が福祉現場で活用される体制を整備

博物館と福祉現場の連携



## **学びが自主的な社会参加へ**

修了者が「いきいき隊」として自主的活動を継続

## **世代間交流と生涯学習の機会を生む**

伝える内容を考える過程が学びとなり交流を創出

## **回想法の継続が地域の参加基盤を支える**

個人の変化が継続的な交流・協働へ

## 研究の内容

### 5 各博物館の取組事例

(1) 大阪市立自然史博物館

(2) 昭和日常博物館 (北名古屋市歴史民俗資料館)

(3) 北上市立博物館

(4) 遠野市立博物館

# 北上市立博物館



所管：北上市教育委員会

開館：昭和48年

区分：登録博物館

リニューアル：平成28年

運営：北上市

職員：7名

### ▶ 慶念坊とその時代（H30特別展）

地域の思いから展示へ発展  
調査を博物館が学術的に裏付け、社会に還元



●慶念坊の肖像を基にしたイメージ画

### ▶ 北上川舟運と海（R1特別展）

舟運と海運を広域連携で紹介  
協働調査で新たな情報や交流が生まれる

## ▶ 仙人鉄山（R6特別展）

専門家の要望から展示化  
研究成果を地域に還元し、歴史を学ぶ場に

## ▶ 郷土の刀（R6企画展）

郷土の刀と刀匠を紹介  
さくらまつり連動企画・研磨実演で文化発信



### ▶江戸時代の北上（R6 歴史講座）

既知の事柄を手がかりに地域史を自分事化  
受け身だけでなく、一緒に考える姿勢を育む

### ▶教育機関との連携（岩手県立大学）

北上川舟運のDB構築に、資料提供・分析で研究支援  
教材化と公開で、展示外でも学びを拡張予定

## 地域史の記録と公開

調査成果を整理・記録、文化を学び直す機会を創出

## 連携による広い視点の提示

複数館との協働で、地域史を広域的・多角的に捉える

## 専門性を生かした理解支援

専門的な成果と講座を通じ、地域史理解と自分事化

## 住民の思いを受け止めた学びの創出

住民の声を展示や探訪会へ展開、交流と誇りにつなぐ

## 連携による広い視点の提示

複数館との協働が人や地域をつなぎ、新たな活動へ

## 多様な主体が関わる学びの場

専門家の成果公開・刀剣研磨実演で文化継承促す

## 研究の内容

### 5 各博物館の取組事例

(1) 大阪市立自然史博物館

(2) 昭和日常博物館 (北名古屋市歴史民俗資料館)

(3) 北上市立博物館

(4) 遠野市立博物館

# 遠野市立博物館



所管：遠野市教育委員会

開館：昭和55年

区分：登録博物館

リニューアル：平成21年

運営：遠野市

職員：4名

### ▶ 遠野物語と呪術（R5特別展）

寄贈増で資料充実、平易化と日常接続で理解促進

### ▶ 伊能嘉矩＋呪術（R7夏季特別展）

専門展示に人気テーマ併設、人物史×民俗で複眼的学び

### ▶ 供養絵額（H13夏季特別展）

風習を可視化、地域文化の価値を再認識



常設資料「供養絵額」

### ▶ 遠野町屋ひなまつり

地域連携で復活支援、保存・飾り方助言、担い手形成

### ▶ 教育連携

出前授業・体験・資料貸出、地域理解促進

### ▶ 遠野遺産制度

調査・助言による運営支援、活用促進と地域活性化

### ▶ 教育的活用

展示の理解補助、地域文化の知識共有

### ▶ 関心の拡張

遠野の魅力＋全国共通要素で自分と結び付けて理解

### ▶ 波及

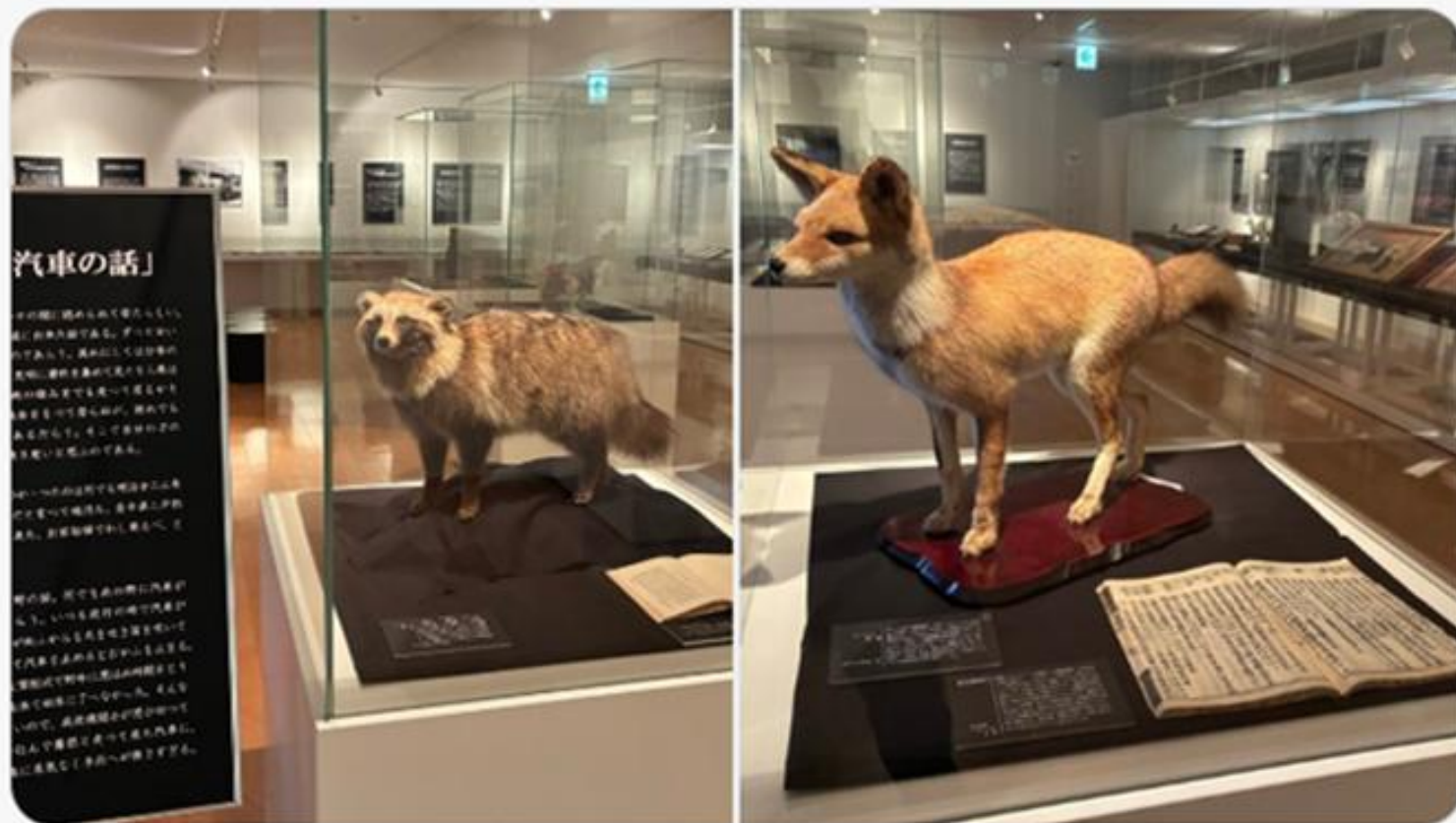
約6万人フォロワー／若年層アプローチ → 来館動機へ



## 偽汽車の話

偽汽車は、存在しない蒸気機関車が線路を走る怪異で、幽霊機関車とも呼ばれる。明治期に各地で語られ、狐や狸が化けた姿とされ、本物の汽車に轢かれ死体となる話が多く、佐々木喜善『東奥異聞』にも記録がある。

企画展「遠野物語と動物」開催中～1/12



## 信頼にもとづく資料形成の基盤

住民の依頼を受け止め寄贈、資料の収集・蓄積を継続

## 記録化と理解支援による共有

図録で記録・公開、平易な解説と日常接続で理解促進

## 教育連携と保存支援の基盤化

出前授業等で学びを支え、供養絵額で保存意識高める

## 発信と参加の入り口の拡張

ポップカルチャー×SNSで若年層来館、地域の話題へ

## 複線的な展示構成による関心の交差

専門展示に反響の高いテーマを併設、多様な切り口

## 行事・制度を媒介にした地域参加の循環

ひなまつりで地域行事継続、遠野遺産制度で継承支援

# 岩手県立博物館



所管：岩手県

開館：昭和55年

区分：登録博物館

職員：22名（学芸17名）

運営：岩手県文化振興事業団

# 岩手県立博物館

文化庁イノバートミュージアム事業

## 三陸希望遺産デジタル・アーカイブ 構築プロジェクト

### ▶ 3D化・共有

震災課題に対応し、化石標本をデジタル化

### ▶ 広域連携

広い県内の分散資源をつなぐネットワーク

### ▶ 防災・教育活用

電子データの保全とレプリカ教材の活用

## 研究の内容

- 1 博物館の歴史
- 2 博物館の現状と今後の課題
- 3 本県における文化芸術の位置づけ
- 4 アンケート調査について
- 5 各博物館の取組事例
- 6 「博物館」の地域における社会教育的役割の考察

# 4 館の事例から見えてきたこと

視点1 基本的な社会教育的役割：知の蓄積と共有

視点2 新たな社会教育的役割：地域の活力向上

## 【共通点】

地域文化・歴史を支える基盤と、開かれた活動を展開

## 【特徴】

方法や広がり方が館ごとに異なる

## 【関係性】

視点1と視点2は相互に関係しながら展開

## 視点2 新たな社会教育的役割：地域の活力向上（枝葉）

住民協働・交流  
文化継承 次世代育成

理解支援

異分野・他館連携

資料蓄積

## 視点1 基本的な社会教育的役割：知の蓄積と共有（根）

## 国際的定義（ICOM,2022）

知の蓄積・共有を基盤に **視点1**

参加と協働で社会に開かれた経験を提供 **視点2**

## 国内的理念（文化審議会,2021）

保存・研究で基盤を強化し **視点1**

交流・活動支援で役割を広げる **視点2**

# 【文化的コモンズとは】

誰もが参加できる文化的営み

公立文化施設が多様な主体と協働してつくる共有の場

## 【文化的コモンズから捉えた博物館】

資料の蓄積・共有を核に … 視点1

他施設や地域組織と協働し、  
文化的つながりと交流を広げる … 視点2

# 博物館の社会教育的役割

本研究の整理として、次のように捉えます。

**知の蓄積と共有を基盤に、**  
**人と人を結び**  
**地域の文化と暮らしをつなぐ**  
**学びと交流の場を**  
**持続的に創出すること**

## 【見えた課題】

人材不足・財政制約

## 【それでも進む取組】

特色を活かした教育活動・地域連携

創意工夫による地域に開かれた活動の展開

## 【役割を支える手がかかり】

今後の役割を持続・発展させるために重要な示唆

# 発表構成

I 研究の概要

II 研究の内容

III 研究のまとめ



# 発表構成

I 研究の概要

II 研究の内容

III 研究のまとめ



# 【研究の成果】

## ▶ 博物館の制度的枠組みを整理

歴史・定義・法制度・求められる役割

## ▶ 県内博物館の実態と課題を把握

アンケートで可視化、事例分析の視点を導出

## ▶ 事例から、地域と協働した学びを確認

協働と共有の実践から新たな学びの可能性を展望

## 【研究の課題】

- ▶ **管理体制・制度区分・運営形態の影響は未検討**
- ▶ **財政・人員などの条件の影響を十分に分析できず**

こうした要因の解明が今後の課題

令和7年度 岩手県生涯学習推進研究発表会

「博物館」の地域における社会教育的役割に関する研究

ありがとうございました



岩手県立生涯学習推進センター